

2年生 「性教育講演会 ～自分の性を生きること」

講師：都 智華子先生

2年生は24日（水）5・6限に性教育講演会を実施しました。講師は（公益社団法人）日本誕生学協会認定 誕生学アドバイザーの資格を持ち、命の学習の講師などを努めておられる都智華子先生（右写真）にお願いしました。



前半は、針の先の大きさほどの受精卵から誕生までの胎児の様子を中心にお話を聞きました。特に出産の時に、骨盤の空間に合わせて胎児が体を回転させながら移動する様子を、骨盤と赤ちゃんの人形を使って見せていただくと、生徒の間から感嘆の音が聞こえました。

後半は、都先生がお勤めになっているクリニックでの体験からお話しいただきました。たった一度の性交で性感染症に感染し、何年もたってから不妊に悩むことになった女性の話。妊娠中絶をした女性だけでなく、させた男性も心に深い傷を負ってしまうことがあること。望まない性行為や妊娠を避けるためにはプライベートゾーンを守ることが必要で、「やめて」と言う勇気を持たないといけないこと。

奇跡のような確率で与えられた命を、大切に生きること・次の世代につなげることのために一生懸命生きようと思えるお話でした。

【生徒の感想】

☆僕たちの世代の人たちが妊娠するのはあまりよくないことだと思いました。将来のことをしっかりと考えて行動すべきだと思いました。女性の気持ちもしっかりと考える。相手はもちろん、自分の体も自分で守ることが必要だと思った。

☆私が生まれてきたことは奇跡なので、生まれてきたことを誇りに思いたいです。傷つけていい命や傷つけていい体は絶対はないとおっしゃっていたので、命や体を大切にしていきたいと思います。

☆心も体もまだ未熟なのに性交してしまったら、赤ちゃんが育たなかったりまだ欲しくないのに妊娠してしまったりするので、そういうことを考えて行動しようと思った。ダイエットをしているので、それは止めようと思った。自分の体を守らないとなって思った。

☆感染症はとても怖いものだと学べたし、相手の心を壊してしまうこともあるから、相手を思いやるのも大切だと知れた。生んでくれたお母さんに感謝しなければならなかった。

☆まだ家族のこととか深く考えてなかったから、よいことが学べた。命の尊さを知れた気がする。簡単に命を生み出してはいけないことは知っていたけど、その想像を超えるくらい大事なことだと思いました。そして大人になった自分たちが、生まれた子供を絶対幸せにできるように準備していきたいです。命をつなぐ力を守っていきたいです。

☆性行為を軽く考えないで、先のことを考えないといけない。命をなくしてしまうことにもつながる。将来のためにも今、しっかり性のことを考えて、今ここに自分がいることも奇跡が重なって存在していると感じた。

☆やっぱり女の人だけが女性の体のことを知っておけばよいということではなく、男の人でも女性の体のことを知り、女性の気持ちや体のことなどに配慮して支えていかなければいけないなと深く思いました。

☆後半の話は重かったけど、とても大事な話だった。将来に大切なことで、あぶない性交はダメだと思う。後先考えて人と付き合おうと思う。

☆知らなかったことを本当にたくさん知れたし、お母さんのおなかの中で呼吸やおっぱいを吸う練習など外に出る準備をしていることにびっくりしました。自分は男でよかったと思うけど、大人になったらしっかりと女の人を支えてあげたいです。ちゃんと心と体の準備をしてから赤ちゃんをココに産ませてあげたいです。

☆親や家族が今まで自分のことを愛し、言葉やいろいろなことを教えてくれたことに感謝して、これからの人生を歩んでいかななくてはならないと思った。両親いでも性行為をするときはちゃんと将来のことを考えなければならない。信頼できる大人に相談をすることは大切。将来、信頼できるパートナーを見つけ、望まない妊娠ではなく、望む妊娠をして新しい命に責任を持っていかなければいけない。何かおかしいことがあれば、すぐに婦人科や産婦人科に相談をするべきだと思った。お腹の中に赤ちゃん（命）ができれば、他人事でなく大切にしていかななくてはいけない。命を大切に生きていくことをあらためて教えてもらいました。

☆生命の誕生というのは、たくさんの奇跡が起きて生まれるのだと今日の講演で知ることができました。心身の準備もせずに性交渉するというようなうかつな行動はとってはいけないと改めて思いました。お互いを尊重し合うことが大切だと自分なりに考えました。だからその考えたことを忘れず、そして自分の行動に責任を持ち、今後の人生に活かしていきたいと思えます。いい人間関係を築いていけるようになりたいです。

